

児童福祉司(応用)Ⅱ

日程 2月14日(金)、20日(木)、28日(金)

対象 子ども家庭福祉・母子保健等に携わる職員
虐待対応の実務経験があり基本的な用語、法制度等をおおむね理解できている職員

ねらい 児童福祉司として求められる専門的な知識・スキルを身につけ、複雑・困難な事例においても的確な調査・アセスメントを通じた相談援助、他職種・他機関との連携に基づく調整、支援対応等ができる実践的能力の向上を図る。

場所 特別区職員研修所(千代田区九段北1-1-4 東京区政会館別館)

日程	教科目・講師名(敬称略)
2/14 (金) 9:00 ~ 17:00	家族支援のコツ - システムズアプローチの視点から - (講義・演習) (講師紹介) 【講師】龍谷大学心理学部・同大学院心理学研究科教授 ^{ひがし} ^{ゆたか} 東 豊 九州大学医学部心療内科、鳥取大学医学部精神神経科医局長、神戸松蔭女子学院大学人間科学部心理学科教授等を経て現職。システムズアプローチや家族療法を専門とし、現在も後進の育成をしながら臨床現場で支援に携わる。医学博士/公認心理師/臨床心理士 (著書)『マンガで学ぶセルフ・カウンセリング まわせP循環!』、『新しい家族の教科書 スピリチュアル家族システム査定法』(遠見書房)、『セラピスト入門』(日本評論社)など多数。
2/20 (木) 9:00 ~ 17:00	(第一部) 児童虐待 - その歴史と現在 (講義) (第二部) 重大事案をとおして考えるソーシャルワーク (講義・演習) (講師紹介) 【講師】子どもの虹情報研修センター センター長 ^{かわさき} ^{ふみひこ} 川崎 二三彦 京都府の児童相談所で、心理判定員(児童心理司)及び児童福祉司等として約30年あまり相談業務に従事。平成19年4月から子どもの虹情報研修センターの研修部長となり、平成27年4月から現職。政府の社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会委員長、千葉県児童虐待死亡事例等検証委員会委員長等を歴任。一般社団法人日本子ども虐待防止学会理事も務める。 (著書)『虐待死-なぜ起きるのか どう防ぐか』(岩波新書)、『児童虐待-現場からの提言』(岩波新書)、『うちに帰りたくないときによむ本』(監修 少年写真新聞社)など多数。
2/28 (金) 9:00 ~ 17:00	対人援助職として実装したいビジネススキル (講義・演習) (講師紹介) 【講師】西日本こども研修センターあかし 研修事業課長 ^{みき} ^{かおる} 三木 馨 奈良県庁入職後、児童相談所の児童心理司、児童福祉司として、キャリア後半は主に虐待対応のケースワークを担当。また児童福祉主管課にて、研修企画・教材の作成、児童福祉審議会・虐待検証委員会の運営に携わる。令和3年度から、現在の職場にて、子ども虐待、思春期問題に従事する全国の指導者層を対象に「支援者の主体的な学びが実践に活かされ、エンパワメントの場となる研修」をミッションとして、専門研修の企画開催を行う。その他に自治体、関係機関への講師として活動中。公認心理師/臨床心理士 京都市児童相談所アドバイザー、堺市子ども権利擁護部会委員、令和6年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業「虐待を受けたこどものトラウマケアについての実態把握等に関する調査研究」検討WG等を務める。